

MAP No. 3 浜田藩 追懐の碑

1989年(平成元年)に先人を顕彰するため建立されたもの。この石碑には、大村益次郎を描いた歴史小説「花神」を縁に司馬遼太郎氏の碑文「浜田城」があり、石見人気質と浜田城の歴史や文化を偲ぶことができます。



MAP No. 4 浜田県庁の門

長州藩の支配が終わり、1870年(明治3年)に浜田県が設置された後、1872年(明治5年)頃に県庁の門として建てられました。1967年(昭和42年)に現在地に移築されました。



目をCheck!!



本丸から見た日本海

MAP No. 5 二ノ門跡

左奥の石垣が二ノ門の石垣です。この石垣を進むと高い石垣で方形に囲まれた空間があり、進路を阻む構造(枳形虎口(ますがたごくち))となっています。浜田城では二ノ門にだけみられます。



松原湾

観光・登城の記念にぜひお買い求めください! 浜田城跡 御城印 全2種



浜田城跡の御城印やペーパークラフトなどを販売しています。*続日本100名城スタンプあります。 [TEL]0855-22-0674 [営業時間]8:00 ~ 16:00 [定休日]なし

MAP No. 8 濱田護國神社 社務所



MAP No. 2 駅鈴モニュメント

第12代浜田藩主 松平康定が松坂(三重県松阪市)の本居宣長に贈った駅鈴を模したモニュメント。石見地方の地場産業である石州瓦の技術を用いて、浜田市と松阪市の友好の証として製作されました。



MAP No. 1 浜田城資料館(御便殿)

浜田城をはじめ、日本遺産である北前船寄港地 外ノ浦(とのうら)や歴史的建造物である御便殿(当資料館)などについて知ることができます。 *入館無料、続日本100名城スタンプあります。 [TEL]0855-28-7151 [開館時間]9:00 ~ 17:00 [休館日]月曜日・休日の翌日・12/29 ~ 1/3

「しゃべり!」 DyDo×浜田市観光協会 浜田城跡ラッピング自販機

初代藩主・古田重治がおしゃべりする楽しい自販機を設置しています。自販機限定の「浜田城 歴代藩主印(御将印)」(全6種)が購入できます。

レアは ぼくだる♡



浜田城の築城と構造

初代浜田藩主 古田重治が、その居城として1620年元和6年から築城に着手、1623年元和9年までには城及び城下が整ったといわれています。浜田城は標高67mの丘陵上に築かれた平山城で、「亀山城」とも呼ばれていました。

山頂に本丸を構えて、三重櫓と呼ばれる天守や六間長屋等を設け、中腹の二ノ丸には二ノ門や焔硝蔵、時打番所等が設けられていました。東側山麓には堂々たる規模を持つ中ノ門があり、二ノ丸と三ノ丸の境となっていました。三ノ丸には

東側山麓に御殿をはじめ、多くの蔵や役所、番所等が設けられ、浜田川が流れる西側山麓には庭園や茶屋がありました。また、夕日ノ丸にも茶屋をはじめ、当初は櫓も建てられていました。



天守(三重櫓) (復元:三浦正幸 制作:株式会社工ス)



本丸・二ノ丸主要部周辺 (復元:三浦正幸 制作:株式会社工ス)



上空から望む本丸と二ノ丸 (復元:三浦正幸 制作:株式会社工ス)

左下の谷間に中ノ門があり、この谷間を登って登城していました。また、中腹の大きな曲輪(くるわ)には焔硝蔵が設けられていました。山頂周辺は石垣と堀に囲まれ、二ノ門や本丸一ノ門などがあり、本丸の奥に天守がありました。



- ①三重櫓
- ②玉蔵
- ③六間長屋
- ④本丸一ノ門
- ⑤二ノ門
- ⑥出丸
- ⑦焔硝蔵
- ⑧中ノ門
- ⑨裏門
- ⑩大手門
- ⑪御殿
- ⑫南御殿
- ⑬茶屋
- ⑭庭園
- ⑮船蔵



三ノ丸 (復元:三浦正幸 制作:株式会社工ス)



石見国亀山城図 1862年(文久2年) 浜田城の具体的な姿を知ることのできる絵図です。(浜田市教育委員会提供)

MAP No. 6 本丸

左奥に天守(三重櫓)がそびえていました。ここから浜田市街や日本海が一望できます。



MAP No. 7 中ノ門跡

多門(多門造、渡門)ともいわれ、門の上に屋敷があり緊急時には家老が詰める等重要な門でした。

